

所属	看護医療学部 看護学科	職位	准教授	氏名(学位)	草野純子 (修士 (人間科学))	
所属学会	日本看護学教育学会、日本看護研究学会、日本看護科学学会、日本国際情報学会、日本生命倫理学会、日本哲学界、日本放射線看護学会、日本公衆衛生学会、日本生体医工学会					
専門領域	基礎看護学					
研究テーマ	情報学、ケアリング、スピリチュアルケア、教育学、看護哲学、技術教育、食育、防災					
I 主な教育活動						
教育実践上の主な実績						
1 教育・内容の工夫 (授業評価等を含む)	学生のパフォーマンス能力を高め学習意欲が向上するように、ロールプレイングを用いたり、キーワードテストやポートフォリオ作成を行うなど、学生が学習してきた振り返りがしやすいような授業構成を行った。					
2 作成した教科書、教材、参考書	基礎看護実習等の手引きを作成した。看護過程で用いる事例を作成した。点滴静脈注射の準備、固定法のビデオを作成し、イメージ化を図った。					
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	特になし。					
4 その他教育上特記すべき事項	特になし。					
II 主な研究活動						
種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行年月	発行所、発表雑誌 (および巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	頁数
学術論文	・2D 世界の影響の考察—生活様式への影響を中心に—	単著	2018年7月	日本国際情報学会誌『Kokusai-Joho』3巻1号		65-75
	・タッチの意義考察—現在のAIの特徴とタッチ文献からの比較	共著	2019年12月	日本国際情報学会「文化情報研究」第1号	草野純子、林香純、安田裕子	76-89
	・安楽死に関する質問紙調査を手がかりに死生観を育む看護教育の検討—スピリチュアリティの視点からの考察—	共著	2019年12月	日本国際情報学会「文化情報研究」第1号	安田裕子、倉島幸子、草野純子、牧野美樹	18-29
	・日本における「ケアリング」研究の動向と課題—「ケアリング実践」に関する研究の看護・社会背景からの検討	共著	2021年3月	日本国際情報学会「文化情報研究」第2号	柿原加代子、草野純子、林香純	30-36
	・タッチの効果について—触れる部位・触れる方法に焦点をあてて	共著	2021年3月	日本国際情報学会「文化情報研究」第2号	林香純、草野純子	30-37
	・手の力の可能性—触れることの影響力について事例からの考察	共著	2021年3月	日本国際情報学会「文化情報研究」第2号	林香純、草野純子	30-37
	・Issues of Online Communication during the COVID-19 Pandemic—Based on the Experience of Group Discussions via Spatial Chat—	単著	2022年3月	Japanese Society for Global Social and Cultural Studies, “Cultural information research” No.3		24-29
・看護師がタッチの活用に必要なこと—Estarbrooks によるタッチング理論を用いて—	共著	2022年3月	日本国際情報学会「文化情報研究」第3号	林香純、草野純子、Kayoko Kakahara, Junko Kusano		
・Trends and Issues in Research on “Caring” in Japan: Focusing on the Educational Benefits of Caring	共著	2023年3月	Japanese Society for Global Social and Cultural Studies, “Cultural information research” No.4		1-7	
・安全な筋肉注射の施行方法について	共著	2023年3月	生物試料分析学会「生物試料分析」Vol. 46, No2(2023)		13-23	
・看護学生とともに創る食生活改善プログラムの効果	共著	2019年12月	愛知医科大学看護学部紀要第18号		13-23	
紀要					二村純子、安達内美子、草野純子、坂本真理子、西川和裕	

Ⅲ 主な学会活動			
発表(報告)名等	単独 共同	発表年月	学会名等
・食育の課題－食育の試みから－ ・触れる部位・触れ方に焦点をあてたタッチの効果についての文献検討 ・タッチ研究の動向と看護の変遷・社会動向の関連 ・多様性社会におけるイノベーション創出のための 発想力育成教育の考察 ・ Trends and Challenges in Research On ”Caring” in Japan-The Nursing and Social Perspectives ・ comparison of Nursing Student’ s Answers to a Survey on Euthanasia in Their First and Third Year:Cultivating Perspectives on Death and Dying through Spiritual Care Education ・ Why Touch Research is Necessary in the AI Era-Based on a Literature Review on Touch and Caring ・ Improvement of Curriculum Evaluation on the Development of Nursing Practice Ability in Basic Nursing Education for Students and Nurse Graduates ・ Learning Effects of Simulated Case Study Conferences by Nursing Students and Pharmacy Students ・ 手の力の可能性－触れることの影響について事例からの考察 ・ コロナ禍における仮想空間 spatial chat を用いたグループディスカッションについて ・ 安全な筋肉注射の施行方法について(解説) ・ Challenges of panel discussion using virtual space ”spatial chat” during the COVID-19 pandemic ・ Impact of decreased touch on subjects and nurses ・ Trends and Issues in Research on ”Caring” in Japan: Focusing on the Educational Benefits of Caring ・ Trends and Challenges of ”Caring” Research in Japan: Focusing on Definition and Evaluation Standards of Education and Research on Caring	単独 共同 共同 単独 共同 共同 共同 共同 単独 単独 共同 共同 共同	2018年12月 2019年8月 2019年8月 2019年12月 2020年1月 2020年1月 2020年1月 2020年1月 2020年1月 2020年12月 2021年12月 2022年3月 2023年3月 2023年3月 2023年3月	日本国際情報学会 2018年度大会 日本看護研究学会学術集会  日本看護研究学会学術集会  日本国際情報学会 2019年度大会 EAFONS2020 23rd East Asian Forum of Nursing Scholars  EAFONS2020 23rd East Asian Forum of Nursing Scholars  EAFONS2020 23rd East Asian Forum of Nursing Scholars  EAFONS2020 23rd East Asian Forum of Nursing Scholars  EAFONS2020 23rd East Asian Forum of Nursing Scholars  日本国際情報学会 2020年度 大会  日本国際情報学会 2021年度 大会  第31・32回生物試料分析科学学会合同年次学術集会  EAFONS2023 26rd East Asian Forum of Nursing Scholars  EAFONS2023 26rd East Asian Forum of Nursing Scholars  EAFONS2023 26rd East Asian Forum of Nursing Scholars EAFONS2023 26rd East Asian Forum of Nursing Scholars
Ⅳ 社会における主な活動			
活動期間	活動内容等		
2019年12月～2020年12月 2020年12月 2020年12月～2021年12月 2021年10月～2022年3月 2022年3月	日本国際情報学会 2020年度 大会・総会 学術大会実行委員長 日本国際情報学会 2020年度大会 第1会場 座長 日本国際情報学会 2021年度 大会・総会 学術大会実行委員 三重県看護研究会 査読委員 第31・32回生物試料分析科学学会合同学術集会 講演		